



## 第2回定期テストを終えて

皆さん、進級して2回目の考査でした。出来具合はいかがだったでしょうか。前回の考査で気持ちが緩んでしまった人と前回点数が悪くて今回がんばった人とでは、同じ点数であっても取り組みを通して身につく力では大きな差があります。「夢をかなえたい！」という気持ちがあれば、まだ間に合います。まず、現状（今の到達点）と理想（希望する進路）の差を知ること、そして残りの時間ですべきこと・できることを明確にしましょう。早めに受験に対しての照準を合わせる必要があります。

各教科からアドバイスをいただいていますので、よく読んで次につなげましょう。

教科	コメント・アドバイス
現代の国語	試験の大原則として、採点者が読めない字は書かないようにしましょう。特に漢字の問題では、より丁寧に書くことを心がけましょう。（ただし、丁寧と美しくは違います。）今回は、近年の模試や共通テストの「限られた時間で正確に情報を理解して問題を解く」という傾向を取り入れて出題しました。しかし、最後の記述式の解答を作成できていない人が多いことから、時間配分の誤りや記述力の不足が見受けられます。 <b>確かな記述力がなければ、選択問題での誤った解答を見抜くことはできません。</b> そのため、まずは記述力を上げるために、週末課題のグランステップを真剣に解きましょう。解く際には、①時間を図る②解説・ヒントなどを見ずに解く③記述問題から逃げずに、自力で9割以上書く④解答・解説を見ながら正解までのプロセスを理解し、次の問題演習に生かすということを徹底して行いましょう。
古典探究	問題全体の正答率を見ると、マーク式問題は高く、圧倒的に記述式が低いことから、確かな知識の定着を図る必要があります。古文については、助動詞と和歌の修辞、漢文については、句法と語句の意味を、どちらも文法書を活用して暗記し、インプットしたものを声に出したり紙に書いたりしてアウトプットする機会を作りましょう。その上で、「錬成古典」やその他の問題集を活用して実践問題を解くとよいでしょう。今後、実践問題は、 <b>最低でも毎週古文・漢文一題ずつ</b> は解きましょう。
数学Ⅱ	4STEPから51点分そのまま出題しています。また、夏期講習テキスト、週末課題にした模試の過去問からもそのままの問題を出題しています。自分の手元にある問題をしっかり解き、その解き方やその問題で使う公式・考え方を覚えていれば、高得点につながっていたはずですが、問題数が多いように感じるかもしれませんが、今回の問題構成であれば、最後まで解くには十分な時間があつたはずですが、数学も覚えるべきものを覚えていなければ解くことはできません。一度解いた問題について、考え方やそこで使った公式などをしっかりと覚えていくよう、繰り返し取り組むことが大切です。
数学B	初めの小問集合については、公式利用を問うている。単純な代入計算であるので、計算スピードの遅速が如実に点数に表れている。また、記述に関しても、教科書に掲載されている公式・性質そのものを問うているものと、問題文に書いてあるやり方に沿って解いていく問題など、やはり処理スピードの遅速が点数の差になって表れている。全体として、突飛な問題はなかったため、練習不足である。
論理表現Ⅱ	前回と同じような問題構成で取り組みやすかったと思います。問題となる材料も、Workbookや教科書のTaskなど準備の点で十分出来たと感じました。半面、週2時間の授業ということで、やや力が入っていないように思われる人たちがいました。今後の大学入試などを考えたときに、「英語で自分の考えを表現する」ことが必要となってきます。その練習と捉え、出来る範囲での備えをするようにしましょう。最後に前回の振り返りでも述べましたが、e-learningは繰り返し学習することです。次のテストもそれぞれの課題を克服出来るよう頑張りましょう。We can do it!

英語コミュⅡ	「アリは暑い夏の間せつせと食べ物を蓄えていました。」英語が苦手でも、自分一人でもできること。それは語彙力を強化することです。君の頭の中の英語の辞書を厚くする努力を続けて定期試験に臨みましたか？それとも一夜漬け？残念なことに今回の定期試験では知識を問うマーク部分の得点率が低かったです。（得点差が大きかったです。）猛暑も終わりが見えてきました。勉学の秋です。 特に今回点数が50点に届かなかった者は、心を入れ換えて授業に臨み、さらに自宅での学習時間を確保すること。見学旅行の後では絶対に遅い。冬のキリギリスにならないことを期待しています。
生物基礎	一般的にはよくできていましたが単純なミスも目立ちました。たとえば、ATPの方がADPよりエネルギーが大きいことを理解しているが逆にしてしまうなどです。また、考えればわかるのに暗記の問題と思いきや正答率がかなり低い問題もありました。たとえば、酵素（タンパク質）は触媒＝何度でも反応できる。しかし、タンパク質は常温で1か月間もすれば腐敗する≠酵素として働く（×）。細胞分裂とDNAの量の変化も染色体の図をよく理解しないとできません。今後もしっかりとした知識とそれを利用して理解を深めていきましょう。
地学基礎	■平均点は71点。 ■[10]震央の決定の正答率は3割。ヒントをもとに直線を描くと、地点Cを通ります。 ■[12]波形を選ぶ問題の正答率は7割。①と②の波形の違いをしっかりとわかったようです。 ■火成岩分類の表と有色鉱物は完全に覚えましょう！色指数の計算問題にもつながります。 ■[49]この斜長石の特徴は模試でよく出題されます。 ■[55]～[57]状態変化と熱の出入りについても、化学基礎で学んだと思います。大事な考え方ですのでしっかりと身につけて下さい。 担当 小野 忍
物理基礎	運動方程式は、力学の中で最も大切な法則の一つです。この式を使いこなすことはもちろん必要なのですが、その基本が「力の図示」なのです。これなしでは運動方程式は立てられません。ということは、物体にかかるすべての力を正確に理解していなければならぬということ。物理（基礎）という科目は、そういう風につながっていく科目です。ここからはそのイメージを大切にしてくださいね。
化学	今回の考査の範囲は、難しい分野だと感じた人も多かったと思います。今回はあまり問題をひねらずに、問題集等で扱っている問題をストレートに出したつもりでしたが、平均点は前回より少し下がってしまいました。授業でもいつも伝えています。今後どんどん内容は発展していきます。考査前の詰め込みでは対応できません。授業内でまずは理解し、足りないところは復習で補い、記憶に新しいうちに問題集で復習して定着させることを習慣化しましょう！
公共	今回の考査において、夏休み前に、観点別の出題範囲と大まかな配点、そして事前に読み込むように指示した新聞記事を配布しました。試験対策としてではなく、日常の授業への取り組みの成果を、考査問題を通して、発揮してほしいと期待してのものです。全体を通して、平均点が60点台の後半ということで、「おおむね満足」というところだと思います。税の作文も281名が提出してくれました。（全員提出できなかったのは残念!）引き続き、SDGsのスピーチも含め、日々の授業に積極的に取り組んでくれることを期待しています。
日本史探究	今回の日本史探究のテストの平均点は58点くらいで、中間考査の平均とほぼ一緒です。期末考査は期待していたので、とても残念な結果となりました。みんなに言えることですが、とくに思考の問題が解けていませんでした。授業に集中し、史料問題や関連問題の対策をしっかりと、次回はもっと頑張っってテストに臨んで下さい。
地理探究	今回の考査では、どの大問も農林水産業が自然条件の影響や社会条件の変化に伴ってどう「変容」したかを問う問題でした。農林水産業の分布や発達には、傾向や規則性があります。もう一度、復習して確認しておいてください。大問1では原発の処理水海洋排出、北朝鮮の打ち上げ失敗とEEZ、そして記録的猛暑による道内の農作物の異変について考えてもらいました。前回の考査に比べて、準備をしっかりとしてきた生徒が多く、次回の考査がとも楽しみです。
保健	平均点は75点。全体的にはよく頑張ったと思いますが・・・ 暗記していなくても「考えれば解ける」内容もたくさん出題しました。前後の文章や常識で考えれば答えられるのにもったいない…そんな生徒もたくさんいましたね。第3回の定期考査に期待します。保健分野は、生きていく上で大切な知識の宝庫です。点数を取ることも大切ですが、今後の生活に活かすことの方が大切です。